

ホンダ、広島が史上初の6連覇達成

~第28回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』プレーオフ~



MVPに輝いた⑥ホンダ・四方⑥広島メイプルレッズ・大前

ホンダと広島メイプルレッズが史上初の6連覇を達成した。2003年度シーズンを締めくくるスーパーファイナル、第28回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』プレーオフは、3月20、21日駒沢体育館(東京)で行われ、レギュラーシーズンを1位で通過した男子・ホンダと女子・広島メイプルレッズが準決勝勝者を迎えた。決勝に勝ち上がった大同特殊鋼とオムロンは、いずれもレギュラーシーズン3位ながら、同2位の湧永製薬とシャトレーゼをそれぞれ1点差で退けて進出。前半は互いの持ち味を發揮して競り合いが続いたが、後半に入るホンダと広島メイプルレッズがディフェンディングチャンピオンの底力をを見せつけ、巧みに混戦を抜け出すとそのまま勢いをキープして勝利のホイッスルを聞いた。

ホンダはレギュラーシーズンの終盤、大同特殊鋼らに3連

敗して大きく調子を崩したが、このプレーオフ決勝は最高殊勲選手賞を獲得したGK四方を中心とする鉄壁のディフェンスからスピーディな速攻につなげる本来のダイナミックな攻守を確立させ、後半動きが鈍った大同特殊鋼を攻め立ててタイトル防衛(6年連続8回目)に成功した。

女子も広島メイプルレッズの盤石の強さが光った。林五卿と呉成玉のゴールデンペアを軸に有利に試合を展開。オムロンも果敢なディフェンスと左腕ヒッター洪延昊のロングなどで必死に食い下がったが、後半10分過ぎから相手のシュートミスや守りの甘さについて確実に得点に結びつけた広島メイプルレッズが20分30-21と大量リードを奪い、6年連続7回目の優勝を確定づけた。速攻で10得点をマークした大前が最高殊勲選手賞に輝いた。



⑥大同特殊鋼・山本⑦オムロン・洪

明暗分けた後半の集中打 決勝

男子決勝戦。序盤は広政のカットイン、クリーチンコの7mTでホンダが先行すると、大同特殊鋼も山本のサイド、朴性立の速攻で追いつくという息もつかせぬ展開。このあと大同・朴が右足太もも肉離れでベンチに退き、クリーチンコらで加点したホンダが16分8-4と優位に立ったが、大同特殊鋼も負けじと峯村のカットイン、朴に代わってコートに立った新鋭・畠中のロングなどで4点連取、22分8-8と盛り返して大同サポーターを喜ばせた。

このあとは両者譲らぬ攻防でスタンドを沸かせ、終了間際にホンダ・斎藤のカットインが決まり、11-10でホンダリードで終了。

後半に入ると、大同・市原が速攻から豪快に打ち込んで同点、6分に過ぎてはセンター峯村がホンダディフェンスの隙縫を縫うヨドリで13-12と逆転に成功した。しかし、ここからホンダが本領発揮。8分谷口のサイドを皮切りに、大同・金性蕙が退場したチャンスに加藤、谷口が連続ゲット、さらに茅場のヨドリも決まって13分17-14と主導権を奪い返した。

これで勢いづいたホンダはその後も快調に飛ばし、17分過ぎから谷口、阿部の連続速攻などで6連取して一気に試合を決めた。最後は大同特殊鋼必死のマンツーマンディフェンスもとどかず、ホンダが25-19と勝利し、連続優勝記録となる6年連続8回目の栄冠を射止めた。

レギュラーシーズン1位の広島メイプルレッズと、前日劇的な勝利を飾ったオムロンの女子決勝戦は、オムロン・水野の速攻でスタート。しかし、広島メイプルレッズは、エース吳の7mTや大前の速攻ですかさず逆転、その後も水野の速攻、洪のロングシュートなどで反撃するオムロンに対し、林五卿を中心とした早いパス回しで先手を取り続け、18-14と4点リードで前半を折り返した。

「ストップ・ザ・広島」に燃えたオムロンにあっては、西本のポストで前半20分11-11と追いつき、その後も懸命に粘って同点、あるいは逆転へつながる絶好のチャンスを迎ながら、2本の7mT失敗もあって自らに傾きかけた流れをフイにし、その直後に広島メイプルレッズの連打を浴びたのが悔やまれた。

後半も広島メイプルレッズの試合運びの巧さが際立った。安心院の7mT、佐久川のサイドシュートなどで11分20-22と必死に食い下がるオムロンに対し、ここから広島メイプルレッズが一氣の6連取。マンツーマンディフェンスを振り切っての吳の巧打に端を発し、ロングパスを受けた大前の連続速攻などをからめた鮮やかな集中打だった。20分には林のカットインが決まって30-21と広島9点リード。オムロンも必死に食い下がるも、広島メイプルレッズが力の差を見せつけて6年連続7回目の優勝に輝いた。

湧永、シャトレーゼ1点に泣く 準決勝

準決勝2試合は、レギュラーシーズン3位の男子・大同特殊鋼と女子・オムロンが、ともに1点差の大接戦を制して決勝進出を決めた。

男子は大同特殊鋼が終始先手を取り続けていたものの、前

半29分に湧永製薬が11-11の同点に追いつくと、残り10秒でプラマニスがカットインを決めて逆に1点リードで前半を折り返した。

後半に入ても一進一退の攻防が続き、両者一步も譲らない展開で時間が経過。動きが出たのは18分、大同・朴性立の失格で湧永製薬に流れが傾きかけた23分過ぎ、今度は湧永・プラマニスが失格、両エースのリタイアで最後まで予断を許さぬ状況となつた。試合を決めたのは21-21の同点での残り15秒、松林の劇的なポストシュートが決勝点となり、大同特殊鋼がホンダへの挑戦権を勝ち取つた。

シャトレーゼ・早船の7mTでスタートした女子準決勝は、オムロンが劉晋淑、安心院のサイドなどで前半15分6-3と主導権を握つた。そのままオムロンが優勢に試合を進めたものの、シャトレーゼが21分のタイムアウト後からペースをつかみ、8-8の同点に追いついて後半を迎えた。

後半に入ってシーソーゲームの展開ががらりと一転、5分過ぎからシャトレーゼに退場が相次いだところを劉のヨドリなどで確実に得点を加えたオムロンが13分17-11と混戦を抜け出した。しかし、今シーズン限りに活動休止が決まっているシャトレーゼも執念の粘りで終盤猛反撃、29分15秒、早船がこの試合10得点目となるヨドリシュートを決め、20-20の同点に追いついた。

1点をめぐる攻防に興奮がエスカレートする中、勝負を決めたのはオムロン・佐久川の7mT。洪延昊がシャトレーゼディフェンスの一瞬のスキをついて決勝ゴールを導いたものだった。シャトレーゼはGK北野の好守連発などで試合を盛り上げたが、あと1点及ばず涙のタイムアップを迎えた。



⑥湧永製薬・古家⑦シャトレーゼ・早船

アラコが1部残留 男子入れ替え戦

男子1-2部入れ替え戦はアラコ九州(1部7位)-北陸電力(2部1位)の間で行なわれ、アラコ九州が1勝1分で1部残留を決めた。

3月19日の第1戦、北陸電力に前半2点差(12-10)を食い下がっていたアラコ九州は、後半3分過ぎから吳相民、田中を中心に多彩な攻撃を仕掛けて5点を連取、後半20分20-15と10点のリードを奪つた。北陸電力もアラコ九州の連続退場をきっかけに杉山らで反撃するものの差は縮まらず、30-19でアラコ九州が1部の貫禄を示した。

この勝利で大きく優位に立つたアラコ九州は2戦目も開始早々からテンポよく攻めて前半14-7と先行。ここまで再三のノーマークチャンスをものにできずに苦戦を続けた北陸電力は、後半に入つてディフェンスを固めるとともにGK大原からのロングスローを織り交ぜたスピード速攻がうまく得点にからみ、佐久間、桜井らの活躍で22分20-20の同点、その直後には杉山の速攻で初めてリードを奪つた。しかし、前日の大勝で1部残留を決定的にしていたアラコ九州は、残り9秒から金のポストプレーで7mTを奪い、これを吳が沈めて引き分けに持ち込んだ。

2戦を通して攻撃の決定力、勝負どころでの試合運びなど、1部でもまたアラコ九州が一日の長を示した格好だった。

3月20日(土) 男子準決勝
東京・駒沢体育館

大同特殊鋼 22 (11 - 12) 21 湘永製薬
リーグ3位 (11 - 9) リーグ2位

<3/6> K 萩 田 下 川 1 / 5
4 / 6 松 林 東 1 / 4 1 / 2
1 / 1 南 川 浜 本 1 / 3
5 / 9 奏 村 福 田 0 / 0
0 / 0 市 原 中 山 0 / 0
0 / 0 藤 井 小 薫 2 / 5
1 / 1 昌 中 プラマニス 4 / 6 1 / 3
0 / 0 大 田 加 川 0 / 1
K 日 原 坪 根 K <1/2>
0 / 0 渡 遺 小 沢 3 / 5 2 / 2
<0/1> K 高 木 杉 山 0 / 0
2 / 4 山 本 松 村 K
1 / 2 3 / 11 朴 性 立 古 家 3 / 8
5 / 16 金 性 憲 山 口 2 / 3

1/2 21/48 18(FPP)15 17/40 4/7
審判 (Hansson・Olsson) 観客 1399人

3月21日(日) 男子決勝
東京・駒沢体育館

ホンダ 25 (11 - 10) 19 大同特殊鋼
リーグ1位 (14 - 9) リーグ3位

<0/2> K 四 方 萩 田 K <1/5>
1 / 1 池 辺 松 林 3 / 9
0 / 1 羽 賀 南 川 0 / 0
0 / 0 佐 々 木 奏 村 3 / 8
0 / 3 / 5 茅 場 市 原 1 / 4
3 / 5 斎 藤 藤 井 0 / 0
2 / 4 加 藤 富 中 4 / 9
1 / 4 広 政 大 田 0 / 0
4 / 7 谷 口 日 原 K <1/2>
0 / 0 鈴 木 渡 遺 0 / 0
3 / 3 阿 部 高 山 本 2 / 6 1 / 1
K 吉 井 山 本 2 / 6 1 / 1
6 / 7 2 / 4 クリエンコ 金性憲 3 / 10

6/8 19/34 9(FPP)9 17/49 2/2
審判 (Hansson・Olsson) 観客 2941人

3月19日(金) 男子入れ替え戦
東京・駒沢体育館

アラコ九州 30 (12 - 10) 19 北陸電力
1部7位 (18 - 9) 2部1位

K 田中利 西 田 K
0 / 0 材 木 高 橋 0 / 1
1 / 4 村上直 神 田 1 / 12
5 / 8 植 木 桜 井 2 / 6 2 / 2
4 / 8 村上秀 筆 吉 4 / 9
8 / 12 吳相民 高 田 1 / 2
3 / 5 朴正鎮 杉 山 7 / 11
1 / 1 鶴 田 北 村 1 / 4
7 / 12 田中慎 表 1 / 2
<0/2> K 谷 川 安 藤 K
1 / 1 錦 戸 佐 久 間 0 / 0
0 / 1 石 黒 大 原 K
K 松 野 有 江 K

0 / 0 30/52 15(FPP)9 17/47 2/2
審判 (永春・安田) 観客 32人

3月20日(土) 女子準決勝
東京・駒沢体育館

オムロン 21 (8 - 8) 20 シ ャ ト
リーグ3位 (13 - 12) リーグ2位

0 / 0 藤 長 遠 藤 K
1 / 3 5 / 9 安心院 原 田 1 / 6
0 / 0 大 石 桂 0 / 0
2 / 2 西 本 山崎美 0 / 0
0 / 0 富 田 立 野 0 / 0
2 / 3 佐 久 川 稲 吉 2 / 6
K 藤 間 寺 田 2 / 3
0 / 4 水 野 橋 本 2 / 7
0 / 0 卷 藤 浦 3 / 4
<0/3> K 勝 田 山崎理 0 / 0
2 / 7 洪 延 昊 早 船 7 / 12 3 / 3
7 / 12 劉 普 淑 中 村 0 / 0
0 / 0 東 濱 北 野 K <3/6>

3/6 18/39 19(FPP)16 17/38 3/3
審判 (仲田・植村) 観客 1011人

3月21日(日) 女子決勝
東京・駒沢体育館

広島メイプル レッズ 35 (18 - 14) 27 オムロン
リーグ1位 (17 - 13) リーグ3位

<1/3> K 高 森 藤 長 0 / 0
0 / 0 土 屋 安心院 3 / 5 3 / 5
1 / 1 0 / 0 木 村 大 石 0 / 1
2 / 4 青 戸 西 本 3 / 4
10 / 10 大 前 富 田 0 / 1 2 / 4
0 / 3 河 本 佐 久 川 4 / 9
6 / 10 林 五 卿 藤 間 K <0/1>
2 / 3 岩 本 水 野 4 / 7
1 / 1 0 / 1 坪 井 卷 0 / 0
3 / 3 8 / 13 吳 成 玉 金 城 1 / 4
0 / 0 吉 兼 勝 田 K <1/6>
<3/6> K 浅 井 洪 延 昊 6 / 11
1 / 2 杉 本 劉 普 淑 1 / 4
0 / 0 石 山 東 濱 0 / 0

6/7 29/46 11(FPP)7 22/46 5/9
審判 (福島・家永) 観客 1146人

3月19日(金) 男子入れ替え戦
東京・駒沢体育館

アラコ九州 23 (14 - 7) 23 北陸電力
1部7位 (9 - 16) 2部1位

<0/1> K 田中利 西 田 K
0 / 0 材 木 高 橋 3 / 4
1 / 3 村上直 神 田 2 / 9
2 / 4 植 木 桜 井 3 / 5 4 / 4
6 / 11 村上秀 筆 吉 3 / 9
3 / 3 0 / 0 吳相民 高 田 0 / 0
4 / 5 朴正鎮 杉 山 4 / 8 0 / 1
0 / 0 鶴 田 北 村 0 / 0
3 / 8 田中慎 表 1 / 1
<0/2> K 谷 川 安 藤 0 / 1 <0/3>
0 / 0 錦 戸 佐 久 間 3 / 5
1 / 5 石 黒 大 原 K
<1/2> K 松 野 有 江 K

3/3 20/46 9(FPP)9 19/42 4/5
審判 (永春・安田) 観客 184人

【個人表彰】

男子1部

四 方 篤 (ホンダ)	2回目
荒 木 誠 司 (ホンダ)	初
峯 村 敦 (大同特殊鋼)	初
吳 民 (アラコ九州)	102点 初
金 性 憲 (大同特殊鋼)	74点 初
郭 克 明 (大同特殊鋼)	0.712 2回目
相 民 (アラコ九州)	42点 初
吉 井 文 晴 (ホンダ)	0.435 初
坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	初
坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	4回目
C P 下 川 真 良 (湧永製薬)	3回目
山 口 修 (湧永製薬)	3回目
広 政 宣 孝 (ホンダ)	3回目
金 性 憲 (大同特殊鋼)	初
中 川 善 雄 (大崎電気)	3回目
吳 民 (アラコ九州)	初
永 島 英 明 (大崎電気)	初
湧 永 製 薬 65点/14試合 (4.6点/試合)	
福 田 大 樹 (湧永製薬)	

女子1部

大 前 典 子 (広島メイプルレッズ)	初
五 朝 南 (広島メイプルレッズ)	7回目
洪 吳 (オムロン)	初
郭 惠 静 (ソニーセミコンダクタ九州)	142点 初
郭 惠 静 (ソニーセミコンダクタ九州)	115点 初
青 戸 あ か ね (広島メイプルレッズ)	0.795 初
早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	40点 初
高 森 妙 子 (広島メイプルレッズ)	0.4 初
吳 成 玉 (広島メイプルレッズ)	5回目
飛 田 季 実 子 (ソニーセミコンダクタ九州)	初
C P 橋 本 寛 子 (シャトレーゼ)	2回目
青 戸 あ か ね (広島メイプルレッズ)	初
佐 久 川 ひ と み (オムロン)	3回目
田 中 美 音 子 (ソニーセミコンダクタ九州)	7回目
早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	初
吳 成 玉 (広島メイプルレッズ)	6回目
稻 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	初

シャトレーゼ 62点/15試合 (4.1点/試合)

高 栖 由 香 (ソニーセミコンダクタ九州)

男子2部

厚 沢 恵 彦 (トヨタ自動車)	53点 初
佐 藤 豪 洋 (豊田合成)	47点 初
高 橋 準 (北陸電力)	0.741 初
・7 m スローリード得点賞	厚 沢 恵 彦 (トヨタ自動車) 13点 初
・7 m スローに阻止賞	安 藤 功 規 (北陸電力) 0.556 初
・敢闘賞 G K C P	福 田 竜 介 (大阪ガス) 初
	杉 山 卓 也 (北陸電力) 初
	神 田 友 和 (北陸電力) 3回目
	佐 久 間 俊 輔 (北陸電力) 2回目
	厚 沢 恵 彦 (トヨタ自動車) 2回目
	田 中 勝 弘 (トヨタ自動車) 2回目
	佐 藤 豪 洋 (豊田合成) 初
	山 田 浩 二 (北陸電力) 初
	北 陸 電 力 50点/9試合 (5.6点/試合)
	高 橋 準 (北陸電力) 初

レフェリー

家 永 昌 樹 (大阪) 福 島 亮 一 (熊本)
該当者なし

ALL STAR GAME 2004

メンバー

女子 東軍=監督・堀田敬章(北国)コーチ・平塚一彦(シャトレーゼ)

選手・田中麻美K、中村尚美、近藤智重、小野澤香理(以上北国)原田恵、

早船愛子、稻吉希穂、藤浦美絵、寺田美香、橋本寛子、細谷若菜K(以上シャトレーゼ)羽出重真紀、菅谷美奈、佐藤由紀恵(以上名古屋)西軍=監督・林五郎(広島)コーチ・西窪勝広(オムロン)選手・浅井友可里K、吳成玉、杉本絵美、青戸あかね、岩本美穂、河本千寿子(以上広島)金城晶子、佐久川ひとみ、大石真代、東漬裕子(以上オムロン)山田早織、飛田季実子、郭惠静、田中美音子(以上ソニー)

男子 東軍=監督・富本栄次(大同)コーチ・宇田川敏郎(東京)選手・

高木尚K、金性憲、朴性立、松林克明、山本琢央(以上大同)中川善雄、永

島英明、岩本真典、宮崎大輔、東俊介、濱口靖K(以上大崎)野村広明、竹

下浩雄、角谷裕司、林田庄司K(以上車体)五島宏隆(東京)西軍=監督・

荒木誠司(ホンダ)コーチ・酒巻清治(湧永)選手・吉井丈晴K、池辺健二、

斎藤泰貴、佐々木教裕、谷口了、広政宣孝、S・クリエンコ(以上ホンダ)

R・B・プラマニス、古家雅之、東慶一、山口修、坪根敏宏K、下川真良、

小沢勝利(以上湧永)吳相民(アラコ)吉田耕平K(ホンダ熊本)

男子チャレンジリーグ

男子の世界選手権アジア予選(日本は2位で本大会出場を決定)が2月10~22日までカタールであります。今期の男子が2回戦制となったことから、若手層のレベルアップを狙いとして同時に学生との交流戦「チャレンジリーグ」が企画されました。最終週として3月13日(土)に行われた九州地区結果は以下の通り。

佐賀県・アラコ九州クレインアリーナ

ホンダ熊本22(14 - 5 , 8 - 10)15福岡大

アラコ九州37(18 - 8 , 19 - 9)17東和大

ホンダ熊本24(13 - 8 , 11 - 10)18東和大

福岡大25(9 - 11 , 16 - 13)24アラコ九州

3月28日に94年以来11年ぶりの日本リーグ・オールスター戦が山口県周南市総合スポーツセンター・メインアリーナで行われる。日本リーグ機構が選考した男子16、女子14人のメンバーでチームを編成し、それぞれ東西対抗戦方式で実施する。

開催日程 3月28日

10:00~小中学生との交流会

13:00~オールスター女子試合

15:00~オールスター男子試合

16:40~サイン会・ファン交流会

入場料 一般2000円(1500円)
中学1300円(1000円)

()は前売り料金、小学生以下無料

チケット問い合わせ先

周南市スポーツセンター

TEL:0834-28-8311

第28回日本ハンドボールリーグ・レギュラーシーズン成績表

順位	1部男子	ホンダ	湧永製薬	大同特殊鋼	大崎電気	ホンダ熊本	トヨタ車体	アラコ九州	HC東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	ホンダ	23 19	21 21	26 27	30 24	26 29	33 20	28 31	14	11	0	3	22	358	279	79	
2	湧永製薬	20 18		28 18	28 28	29 25	26 28	34 23	35 29	14	10	1	3	21	369	288	81
3	大同特殊鋼	18 22	22 18		25 25	30 23	25 27	27 28	26 28	14	10	1	3	21	344	288	56
4	大崎電気	15 33	24 21	20 26		25 27	22 25	22 26	29 23	14	10	0	4	20	338	308	30
5	ホンダ熊本	18 20	24 26	22 21	21 20		27 25	27 22	29 25	14	6	0	8	12	327	340	-13
6	トヨタ車体	19 23	21 21	23 16	20 22	24 22		25 22	29 26	14	4	0	10	8	313	327	-14
7	アラコ九州	22 22	24 17	25 23	20 19	26 23	23 20		27 31	14	3	1	10	7	322	358	-36
8	HC東京	13 16	15 13	14 10	16 11	20 12	15 9	27 22		14	0	1	13	1	213	396	-183

上位3チームはプレーオフで順位を決定。2位 - 3位は、対戦間勝点による。7位は入れ替え戦に出場する(8位は2部へ自動降格)。

順位	1部女子	メイブルレッズ	シャトレーゼ	オムロン	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレッズ		24 25 24	26 29 33	32 29 39	27 28 33	39 24 38	15	14	0	1	28	450	344	106
2	シャトレーゼ	23 26 22		34 20 16	28 18 25	29 23 32	24 32 31	15	9	2	4	20	383	319	64
3	オムロン	20 20 24	19 17 17		27 23 27	22 20 28	36 25 26	15	10	0	5	20	351	339	12
4	ソニーセミコンダクタ九州	30 25 32	28 27 25	26 21 17		27 30 39	29 26 32	15	7	2	6	16	414	362	52
5	北国銀行	15 20 21	19 17 17	17 19 21	18 16 27		22 21 16	15	2	0	13	4	286	397	-111
6	HC名古屋	24 23 19	18 19 23	24 19 17	16 16 21	18 19 22		15	1	0	14	2	298	421	-123

上位3チームはプレーオフで順位を決定。2 - 3位は対戦間勝点による。

順位	2部男子	北陸電力	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		30 28 33	35 19 31	34 41 37	9	9	0	0	18	288	148	140
2	トヨタ自動車	18 18 19		17 27 22	28 27 34	9	5	0	4	10	210	208	2
3	大阪ガス	15 17 18	20 21 16		32 24 32	9	3	0	6	6	195	232	-37
4	豊田合成	16 14 13	26 14 20	24 27 30		9	1	0	8	2	184	289	-105

1位の北陸電力は1部との入れ替え戦に出場。